

1. 科目名 (単位数)	情報処理演習Ⅱ (4単位)	3. 科目番号	GECM2304 GECM2104
2. 授業担当教員	里吉竜一	5. 開講学期	通年
4. 授業形態	講義および演習		
6. 履修条件・他科目との関係	教育学部生必履修科目・「情報処理演習Ⅰ」履修済(原則) 演習課題に取り組めるためにインターネットに接続できるノートPCを準備することが望ましい。		
7. 講義概要	情報処理演習Ⅰの内容は、情報の利用者側(受け手)の観点の内容が主であったが、本講義では、情報の作成、加工、発信に関する内容を取り扱う。 マルチメディア情報の作成や、Web技術等は、現代社会の様々な局面で必要とされており、かつ、一部の専門家が、これを担うのではなく、広く一般の人々が行うようになってきている。講義では、実習等を通して、情報発信者、あるいはコンテンツの作成者としての基礎的な素養を身に付ける。		
8. 学習目標	情報の発信者、作成者として必要な基礎技能を習得すると共に、社会の情報化の進展に伴って様々な問題が顕在化している現状に鑑み、技術的側面だけでなく、情報そのものや情報機器、コンピュータネットワークを取り扱う際にどの様な姿勢で臨むべきかに関しても学習し、説明できるようになる事を目標とする。		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	講義毎に各課題を指示します。 ・実技演習課題 ・レポート課題 ・作品制作課題(春期秋期各1回)		
10. 教科書・参考書・教材	・教科書:実教出版企画開発部編『30時間でマスターWebデザイン』実教出版、2023。 ・副教材:影山明俊・石上美季子『30時間アカデミックWebデザイン』実教出版、2022。 ・参考書:山下博通『最新ネットワークシステム』実教出版、2019。 :アंक『ホームページ辞典HTML CSS JavaScript』翔泳社、2020。 :大川晃一・小澤慎太郎『JavaScript入門』実教出版、2022。 その他は講義の中で適宜紹介します		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. Webを使った情報発信者としての基礎的な技術を身に付けているか。 2. 情報そのものや情報機器・ネットワークを扱うことの有効性やリスクについて理解し、説明できるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、課題等を総合して評価する] 1. 授業への積極的参加 30% 2. 課題や日常の学習状況 70%		
12. 受講生へのメッセージ	・基本的には情報処理演習Ⅰの履修者を前提に演習中心の授業を展開して全員が情報の発信者として必要な基礎的な技術を身に付けることができます。 ・正解を事前に設定できない問題を科学的な根拠に基づいて解決し、生涯にわたって自ら学び続けられる素養を身に付けることができます。 ・Society5.0とGIGAスクール構想に対応した授業を設計するので各自パーソナルデバイス(スマホかタブレット)を準備してください。 ・質問はいつでも気軽にしてください。 ・欠席、遅刻、早退をする場合は連絡してください。		
13. オフィスアワー	・情報処理演習Ⅱは教育学部生必履修科目なので全員に責任をもって指導します。 ・面談や補講の希望者は事前にメール等で連絡してください。詳細は授業で通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	春期イントロダクションⅠ Society5.0の概要、ICT経験値に関するアンケート、情報処理学習室の利用方法について等を確認して春期講義の導入とします。	事前学習	情報処理演習Ⅰでの授業内容を振り返る。 Society5.0について復習しておく
		事後学習	Society5.0の概要をまとめる
第2回	春期イントロダクションⅡ GIGAスクール構想の概要、PCとWindowsの基本、授業の演習方法について(ただしメールアドレスの作成状況等により別の講義で行う場合もあります)等を確認します。	事前学習	教科書pp.4~15を読んでおく。GIGAスクール構想について復習しておく
		事後学習	GIGAスクール構想の概要をまとめる
第3回	Webサイト制作の基礎 Webサイト制作の基礎技術、Webサイトのメリットや危険性、Webデザインの基礎等を講義します。	事前学習	教科書pp.4~33を読んでおく。Webサイトの制作について調べておく
		事後学習	Webサイト制作の環境を準備する
第4回	HTMLの基礎Ⅰ HTMLドキュメントを記述する作業であるマークアップの方法について講義します。	事前学習	教科書pp.34~40を読んでおく。HTMLについて調べておく
		事後学習	マークアップの方法についてまとめる
第5回	HTMLの基礎Ⅱ テキストだけの簡単なWebページ作成の実技と演習を行います。	事前学習	教科書pp.41~49を読んでおく
		事後学習	実技の復習をする
第6回	画像とハイパーリンク 例題5と例題6の実践練習を行います。	事前学習	教科書pp.50~56を復習しておく
		事後学習	実技の復習をする
第7回	ページ構造と文書構造の設定	事前学習	教科書pp.57~64を読んでおく

	例題7と例題8の実践練習を行います。	事後学習	実技の復習をする
第8回	実習1・II 実習1と実習IIの実践練習を行います。	事前学習	教科書 pp.65 を読んでおく
		事後学習	実習の復習をする
第9回	CSSの基本 CSSの基本的記述方法や基本的なプロパティの実技と演習を行います。	事前学習	教科書 pp.66～75 を読んでおく
		事後学習	実技の復習をする
第10回	背景の指定 例題2の実践練習を行います。	事前学習	教科書 pp.76～81 を読んでおく
		事後学習	実技の復習をする
第11回	ボックスモデル 例題3の実践練習を行います。	事前学習	教科書 pp.82～91 を読んでおく
		事後学習	実技の復習をする
第12回	Webページのレイアウト 例題4の実践練習を行います。	事前学習	教科書 pp.92～99 を読んでおく
		事後学習	実技の復習をする
第13回	総合演習：作品制作① Webサイトの制作についてこれまでに学習したことを活用して作品制作を实践するために、「テーマ」「作成条件」「評価規準」を確認して評価方法、評価システム、教育的価値等を講義します。	事前学習	これまでの授業内容を復習しておく
		事後学習	諸条件を確認して作品を制作する
第14回	総合演習：作品提出〆切 所定の場所に作品を提出してもらいます。	事前学習	前回の授業内容の復習をしておく
		事後学習	「評価規準」を確認して自己評価及び相互評価の教育的価値を考える
第15回	総合演習：自己評価と相互評価 学生自身が他者の作品を評価するのと同じように客観的に自己の作品も評価する実践を行います。自己の内面に向かう自己教育力の醸成を目的とします。	事前学習	制作作品を客観的に評価する意義を考える
		事後学習	どうしたら客観的な自己評価ができるようになるかについての考察を深める
第16回	秋期イントロダクション：自己評価能力の向上 自己評価と相互評価の差異から自己評価能力の客観性レベルを科学的に測定することで自己評価能力の向上を図る基点を意識して自己教育力を向上させる意義を講義し、秋期講義の導入とします。	事前学習	自己評価能力の客観性レベルを内省して自己分析する
		事後学習	自己教育力を向上させる意義を考える
第17回	JavaScriptの基礎 JavaScriptの基礎、操作例、記述場所、記述方法を説明し、オブジェクトの要点を学習する。	事前学習	教科書 pp.138～141 を読んでおく
		事後学習	JavaScriptの要点をまとめる
第18回	時刻・タイマー処理 例題1の実践練習を行います。	事前学習	教科書 pp.142～150 を読んでおく
		事後学習	実技の復習をする
第19回	Webサイトの企画 これまで学習したHTML・CSS・JavaScriptを活用してWebサイトの企画及び制作の基本的事項を確認する。	事前学習	教科書 pp.100～101 を読んでおく
		事後学習	これまで学習したHTML・CSS・JavaScriptの復習をする
第20回	HTMLのマークアップ 例題1の実践練習を行います。	事前学習	教科書 pp.102～105 を読んでおく
		事後学習	実技の復習をする
第21回	トップページのデザイン1 例題2の実践練習を行います。	事前学習	教科書 pp.106～119 を読んでおく
		事後学習	実技の復習をする
第22回	トップページのデザインII 引き続き例題2の実践練習を行います。	事前学習	教科書 pp.106～119 を読んでおく
		事後学習	実技の復習をする
第23回	フォームの作成 例題3の実践練習を行います。	事前学習	教科書 pp.120～125 を読んでおく
		事後学習	実技の復習をする
第24回	テーブル テーブルのマークアップに関する実技と演習を行います。	事前学習	教科書 pp.126～129 を読んでおく
		事後学習	実技の復習をする
第25回	レスポンシブデザイン レスポンシブデザインに関する実技と演習を行います。	事前学習	教科書 pp.130～135 を読んでおく
		事後学習	実技の復習をする
第26回	実習5 実習5の実践練習を行います。	事前学習	教科書 pp.136 を読んでおく
		事後学習	実習の復習をする
第27回	実習6 実習6の実践練習を行います。	事前学習	教科書 pp.137 を読んでおく
		事後学習	実習の復習をする
第28回	総合演習：作品制作② Webサイトの制作についてこれまでに学習したことを活用して作品制作を实践するために、「テーマ」「作成条件」「評価規準」を確認して自己評価の教育的価値等を講義します。	事前学習	自己評価の教育的価値について考えておく
		事後学習	諸条件を確認して作品を制作する
第29回	総合演習：作品提出〆切 所定の場所に作品を提出してもらいます。	事前学習	これまでの授業内容の復習をしておく
		事後学習	「評価規準」を確認して自己評価及び相互評価の教育的価値を考える
第30回	総合演習：自己評価と相互評価	事前学習	Society5.0に相応しい評価システムについて考

	<p>学生一人一人がプレゼンテーションで制作した作品を発表し合いながら相互に評価してもらいます。自己評価と相互評価の差異から自己評価能力の客観性レベルを意識することで自己教育力の育成が図られる意義と Society5.0 に相応しい評価システムの目的を講義します。</p>		<p>えておく</p> <p>事後学習</p> <p>自己評価能力の客観性レベルを内省して次の学習の見通しを自ら主体的に計画する</p>
--	--	--	--